

新城市では、獣害をもたらすシカやイノシシなどの行動範囲、被害状況などを現地調査で把握し、様々な地理データと組み合わせ、被害対策を行う地域や手段の優先順位を明らかにするための獣害トリアージ

マップの作成を進めています。

このマップを活用することで、例えば「集落住民の獣害意識の向上、フェンス設置とその弱点の補完、休耕地の刈り払い等を行うべき」といった分析が可能となります。

獣害トリアージマップのイメージ

